

# 地域と学校・保育園のさらなる連携を推進

～たまがわ地域協育ネットの取組～

【萩市 田万川中学校区】

## 地域の概要

田万川中学校区は、山口県の北端に位置し、東は島根県益田市および津和野町、南と西は萩市須佐に隣接しています。海岸部、平坦部、丘陵地それぞれ、美しい自然環境に恵まれ、水産業、米作を中心とした農業、果樹生産や林業などの第一次産業を主体に営んでいます。

校区内には、保育園2園、小学校2校、中学校1校があり、異校種間交流や小学校間交流も頻繁に行われてきました。また、地域の方々をはじめとして総合事務所、地域事務所、公民館、交番などの行政も教育に対して非常に協力的な地域です。

人口	2,975人
世帯数	1,341世帯
対象校・園 及び園児・ 児童生徒数	田万川中学校 69人
	多磨小学校 70人
	小川小学校 52人
	田万川保育園 40人
同 小川分園	19人

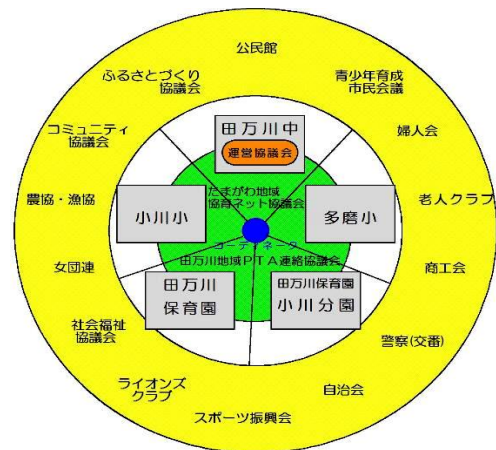
## 組織の内容

田万川地域は、教育に対し熱心に協力してくださる方が多く、元々、田万川地域PTA連絡協議会、青少年育成市民会議、ふるさとづくり協議会、コミュニティ協議会、女性団体連絡協議会、老人クラブ、婦人会、スポーツ振興会など、子どもたちや親たちを守り育てる様々な関連組織がありました。

また、田万川中学校は、平成17年から県内初のコミュニティ・スクールとなり、地域に開かれた信頼される学校づくりの推進をめざし、学校・家庭・地域の連携と協働による取組を展開して9年目となります。

「たまがわ地域協育ネット」は、こうした既存の関連組織の活動を生かしながら、保育園と小・中学校のPTAで組織している「田万川地域PTA連絡協議会」を母体として、ここに地域の主な協議会や団体、行政等の関係者も加わった組織で取り組んでいます。そして、PTA連絡協議会で掲げている「五育」の取組を基本とし、PTAから地域へ取組を拡大させています。

【たまがわ地域協育ネット】



学校・園関係者	8名
PTA関係者	17名
行政関係者	4名
地域・団体関係者	8名

◇コーディネーター数：1名  
(コーディネーターは公民館長)

## 特色・重点的な取組

### 親のつとめ・大人のつとめ「5育」

「わたしたち」の「ふるさと」の未来をなう子どもたちが大きな夢や志を抱いて、たくましく羽ばたくように、地域や自然とのふれあい・生きる技・知恵を授け、健やかに育てていきましょう。

#### ふれあい、ともにすごし、「生きる力」を育みましょう。

- 1日1回(以上)は、家族みんなの『食事』をしよう。
- 『手伝い』を深め、働く気持ちを育もう。
- 生活する上での知恵を授けよう。

#### マナー、ルールを守る子どもに育てましょう。

- 言葉が丁寧な言動ができる、まじりが守られるように育てよう。
- お互いに『あいさつ』をかわそう。
- 学習、読書、テレビ、ゲームの時間を決めよう。

#### がまんできる心を育みましょう。

- がまんできたら、しっかりほめよう。
- 困難にチャレンジする精神を育もう。

#### 思いやりの心を育みましょう。

- まわりの人々と仲良くする心を育もう。
- ものを大切にすることを育もう。
- 先祖を敬つて育もう。

#### 命を大切にする心を育みましょう

- 自分の身は自分で守る心構え、態度を育もう。



田万川地域PTA連絡協議会  
田万川地域事務所

親・大人が変われば、子どもも変わる。子どもが変われば、学校・地域も変わる。

今年度も昨年度に続き、重点テーマを「あいさつ」としてしています。子どもも大人も明るくあいさつをし合う雰囲気をもっと盛り上げ、教育環境を向上させることをめざして、参加団体ごとにとできるところからより具体的な活動に取り組むことを確認しました。

本年度の新たな試みとしては、防災無線を利用した次のような活動があります。

- ① 保育園・小学校・中学校の保護者が交代で、地域全体でのあいさつの励行を中心に、「親のつとめ・大人のつとめ『5育』」を呼びかける。
- ② 長期休業中の定時に、児童生徒の録音・放送により、帰宅時刻のお知らせと家庭でのふれあい等を呼びかける「教育サイレン」を行う。

## 主な活動の紹介

### ○地域の人材や素材の教育現場への積極的活用

- ◇地域から高い技能や専門性をもつゲストティーチャーを招いて、幅広い視点から学習を深める工夫をしています。今年度小学校では、道の駅ゆとりパーク田万川の工場長さんを招いて、田万川の特産品を使ったオリジナル商品の開発にチャレンジする新しい取組も行いました。
- ◇小学校の「探訪遠足」では、地域の文化や歴史を、地域の方に教えていただき、親子でふれあいながら学ぶことができました。
- ◇学校の環境美化に、地域からたくさんのボランティアが協力しています。
- ◇小学校では、ボランティアやゲストティーチャーを招待し、体育館でバイキング形式の給食を食べる集いを行い、地域の方に喜ばれています。

### ○学校教育活動と地域行事等との連携・融合の推進

- ◇「山口県巡回ふれあい公演」(演劇)を小学校児童、中学校生徒と一緒に鑑賞し、本物の芸術を堪能しました。
- ◇小川地区コミュニティ協議会主催の「トリムマラソン大会」を、小川小学校では昨年度から学校行事の持久走大会と兼ねて全員参加としました。多磨小学校の児童や田万川中学校の生徒も多数参加しています。
- ◇中学校では、9つの生涯学習団体が中学校施設を利用して活動しています。地域交流ゾーンや図書館では地域住民との自然なふれあいが日常的に生まれ、地域の温かさが子どもたちの優しい心を育てています。
- ◇市と連携して多磨小学校で開催した「田万川地域防災フェスタ」に、園児、児童生徒、保護者、地域の方が参加して、起震車体験や煙中体験等を行い、防災意識を高めました。



田万川・復興のつどい

- ◇ふるさとづくり協議会が主催する「がんばろう・田万川・復興のつどい」に、園児、児童生徒と一緒に参加し、地域の復興を願う意見発表やダンス、合唱発表を行い、地域に笑顔や元気を届けました。



地域の方との日常的なふれあい



ゲストティーチャー



探訪遠足



巡回ふれあい公演



防災フェスタ

## 成果と課題

地域の児童生徒の課題を今一度確認し、そこから「子どもも大人も明るくあいさつをし合う」ことを重点テーマとして、防災無線を利用した「保護者によるあいさつ運動の呼びかけ」や「児童が行う長期休業中の教育サイレンの実施」等、具体的な活動を行いました。また、会議において、参加団体からあいさつ運動を独自でやってみようという発言があり、地域での気運の高まりを感じることができました。7月28日の豪雨災害時における、園児、児童生徒、保護者、地域の方の協力・絆・思いやり等でも、地域協育ネットの取組が果たした役割は大きいと考えています。

参加団体を中心に、地域協育ネットの趣旨や取組が浸透しつつありますが、主体的な取組の気運が更に地域に広がっていくように、広報活動に取り組む必要があります。

## 今後の取組

### ○本年度の活動の深化・充実

本年度の主な活動について、活動を継続し、更に協議・改善を進めていきます。そして、参加団体がそれぞれの立場で、取り組むことを明確にしていきます。

### ○学校教育と社会教育の連携・融合の推進

学校と公民館等の連携・融合を図り、地域の教育資源を生かしながら、子どもと大人とのふれあいや双方にメリットのある幅広い学習活動を一層推進します。

### ○保育園、小・中学校の連携を強化し、家庭教育の一層の充実に向けた取組の展開

あいさつ、生活リズムや生活習慣、手伝い、家族のふれあい等について、各学校・園の連携した取組を一層充実させます。